

朝日放送株式会社 第3期 一般事業主行動計画

仕事と生活の調和を図り、働きやすい環境を整備することにより、すべての社員がその能力を十分に発揮し、次代を担う子どもたちが健やかに育まれるよう、次のとおり行動計画を策定する。

<計画期間> 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで（5年間）

目標1 育児に関する現行制度の周知を全従業員に図り、利用を促進する。

- 対策
- * 管理職、所属責任者への制度説明を行う。
 - * 出産育児に関するイントラネットを整備し、制度の理解を深める。
 - * 出産育児に関する諸制度が利用しやすくなるよう、手続きの簡略化を図る。

目標2 育児休業の取得を促進する。

- 対策
- * 育児休業と職場復帰に際して事前に面談を行い、本人からの希望を聞く。
 - * 管理職と情報交換を行い、無理なく育児休業できる職場環境づくりに努め、男性社員の育児休業の取得促進にも取り組む。

目標3 育児時短制度、育児特別休暇(看護休暇)を取得しやすいよう、運用を改善する。

- 対策
- * 育児時短、フレックスタイム制度の諸手続きを簡略化し、利用しやすくする。
 - * ベビーシッター、保育所などの育児に関する費用援助制度の周知、拡充を図る。
 - * 父親の育児参加を促進するため、対象者への育児特別休暇の周知を図る。

目標4 長時間労働の削減に取り組む。

- 対策
- * 管理職と人事部門が定期的（3～6ヶ月ごと）に意見交換し、業務の見直し、担務バランスのチェックを行い、必要に応じて人員の再配置を実施する。
 - * 台帳管理による代休取得対策を推進するとともに、年休取得を促進する。
 - * 正確な勤務報告と在社時間把握により、過重労働を未然に防止する。
 - * 長時間労働者の医師面談等の措置を徹底する。

目標5 地域の放送局として、子どもたちの健やかな育成に寄与するために立ち上げた「ABC子ども未来プロジェクト」を継続し、放送やイベントを通じた啓発活動、次世代育成活動に取り組む。

- 対策
- * 社員が小学校を訪問し、放送に関する情報学習を行う「ABChan（えびちゃん）教室」を継続し、実績や実施内容の周知に努めるとともに、より多くの学校に参加してもらえよう講師の拡充を図る。
 - * 地域の子どもたちを社屋に招き、放送の仕組みを学んでもらう「社屋見学会」を学休期間に継続して実施する。
 - * 次世代の健全な育成について広く考えてもらうための、番組やイベントを引き続き実施する。